

例：太田浩一，佐藤敦子，千田奈実，福井えみ
 17th Euretina Congress (バルセロナ) 2016年9月
 Symmetry of fovea after macular hole surgery
 without ILM peeling: Ohta K, Sato A, Senda N,
Fukui E and Komurasaki Y
 17th Euretina Congress (バルセロナ) 2016年9月
 Macular hole formation in an eye with vasopro-
 liferative tumor: Sato A, Fukui E, Senda N and
Ohta K
 第56回日本網膜硝子体学会総会 (東京) 2016年12
 月
 内境界膜剥離併用黄斑円孔手術後の立体視の解
 析：太田浩一，佐藤敦子，千田奈実，福井えみ

講演会

第3回松本歯科大学眼科セミナー (松本) 2017年
 8月
 松本歯科大学における網膜静脈閉塞症の実臨床：
千田奈実
 第3回松本歯科大学眼科セミナー (松本) 2017年
 8月
 松本歯科大学における加齢黄斑変性診療の実臨
 床：佐藤敦子
 第3回松本歯科大学眼科セミナー (松本) 2017年
 8月
 病的近視と自己免疫網膜症：太田浩一
 上伊那眼科フォーラム (伊那) 2017年11月
 ぶどう膜炎診療の注意点と新たな治療：太田浩一

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

太田浩一：加齢黄斑変性のサブタイプにおける歯
 周病の関与 (基盤研究 C)
 菊池孝信，太田浩一：自己免疫網膜症の分子解析
 とバイオマーカー探索による新しい診断法の開発
 (基盤研究 C (分担))

耳鼻咽喉科

論文発表

相馬啓子，國弘幸伸 (2017) 外傷後めまい症例に
 における重心動揺と聴覚・味覚・嗅覚の検討. *Equi-
 librium Res* **76**(2) : 63–71
 相馬啓子，國弘幸伸 (2017) 診断に長期を要した
 小児脳脊髄液減少症の2例. *耳鼻咽喉科臨床* **110**
 (5) : 323–30

その他の学術著作物

相馬啓子，國弘幸伸 (2017) 【心因性疾患診療の最
 新スキル】外リンパ瘻と脳脊髄液減少症 (解説/特
 集). *ENTONI* **213** : 60–5

学会発表

第76回 日本めまい平衡医学会 (軽井沢) 2017年
 11月
 Wernicke 脳症の一例 両側カロリックテスト無反
 応に関連して：相馬啓子，國弘幸伸
 第205回 日本耳鼻咽喉科学会長野県地方部会 (松
 本) 2017年12月
 「涙道外来」を開設して：相馬啓子，水口千佳

総合歯科医学研究所

硬組織疾患制御再建学部門

形態解析学ユニット

論文

Ozaki Y, Koide M, Furuya Y, Ninomiya T, Yasu-
 da H, Nakamura M, Kobayashi Y, Takahashi N,
 Yoshinari N and Udagawa N (2017) Treatment of
 OPG-deficient mice with WP9QY, a RANKL-binding
 peptide, recovers alveolar bone loss by sup-
 pressing osteoclastogenesis and enhancing osteo-
 blastogenesis. *PLoS One* **12** : e0184904

学会発表

第35回日本骨代謝学会 2017年7月 (大阪)
 W9ペプチド投与による OPG 遺伝子欠損マウスの
 歯槽骨喪失の改善効果：尾崎友輝，小出雅則，古屋
 優里子，二宮 禎，保田尚孝，中村美どり，吉成伸夫，
 高橋直之，宇田川信之 (第35回日本骨代謝学会プロ
 グラム抄録集 : p172, O-72)
 第59回歯科基礎医学会 2017年9月 (塩尻)
 ケモカイン CCL25投与が乳幼児期マウス骨形成に
 与える影響：雪田 聡，二宮 禎，細矢明宏，中村
 浩彰 (プログラム抄録集 : p344, O2-D15)
 W9ペプチド投与は OPG 遺伝子欠損マウスの歯槽
 骨喪失を改善する：尾崎友輝，小出雅則，二宮 禎，
 中村美どり，吉成伸夫，高橋直之，宇田川信之 (プ
 ログラム抄録集 : p413, P2-14)
 第123回日本畜産学会 2017年9月 (伊那)
 鳥類型恐竜におけるペプチドホルモンの共局在：
 竹内晶音，二宮 禎，杉山稔恵

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

二宮 禎 (代表), 小出雅則, 平賀 徹, 中村浩彰: 細胞間ミトコンドリア輸送因子 RhoT1の歯周組織修復に対する機能解析 (基盤研究 C)

中村浩彰 (代表), 細矢明宏, 堀部寛治, 二宮 禎, 雪田 聡, 宇田川信之: 組織マクロファージによる歯髄微小環境調節機構の解明と歯髄組織再生療法の開発 (基盤研究 B)

平賀 徹 (代表), 二宮 禎, 細矢明宏: がん幹細胞マーカー分子 EpCAM の骨転移に対する機能的役割 (基盤研究 C)

小出雅則 (代表), 二宮 禎, 宇田川信之: 歯槽骨吸収モデルを用いた RANK 様ペプチドによる骨再生の試み (基盤研究 C)

山下照仁 (代表), 二宮 禎, 高橋直之: 骨細胞への最終分化を方向付ける決定因子の探索 (基盤研究 C)

杉山稔恵 (代表), 二宮 禎: 家禽の強固な骨格構築を目指した骨と筋のクロストーク機構の解明 (基盤研究 C)

雪田 聡, 茶山和敏, 中村浩彰, 二宮 禎: 母乳中ケモカイン CCL25が有する新生児期の骨形成促進効果のメカニズム (挑戦的萌芽研究)

硬組織疾患制御再建学部門
硬組織機能解析学ユニット

著 書

宇田川信之 (2017) 歯科国試パーフェクトマスター 口腔生化学, 医歯薬出版, 東京

論文発表

Yamashita T, Udagawa N, Thirukonda GJ, Uehara S, Hirose Yamauchi, Nobuo Suzuki, Li F, Kobayashi Y and Takahashi N (2017) Platypus and opossum calcitonins exhibit strong activities, even though they belong to mammals. *Gen Comp Endocrinol* **246**: 270–8

Nakamichi Y, Udagawa N, Horibe K, Mizoguchi T, Yamamoto Y, Nakamura T, Hosoya A, Kato S, Suda T and Takahashi N (2017) VDR in osteoblast–lineage cells primarily mediates vitamin D treatment–induced increase in bone mass by suppressing bone resorption. *J Bone Miner Res* **32**: 1297–308

Uehara S, Udagawa N, Mukai H, Ishihara A, Maeda K, Yamashita T, Murakami K, Nishita M, Nakamura T, Kato S, Minami Y, Takahashi N and

Kobayashi Y (2017) Protein kinase N3 promotes bone resorption by osteoclasts in response to Wnt-5a–Ror2 signaling. *Sci Signal* **10**: eaan0023

Yang M, Arai A, Udagawa N, Hiraga T, Lijuan Z, Ito S, Komori T, Moriishi T, Matsuo K, Shimoda K, Zahalka HA, Kobayashi Y, Takahashi N and Mizoguchi T (2017) Osteogenic factor Runx2 marks a subset of leptin receptor–positive cells that sit atop the bone marrow stromal cell hierarch. *Sci Rep* **7**: 4928

Nakamura M, Nakamichi Y, Mizoguchi T, Koide M, Yamashita T, Ara T, Nakamura H, Penninger JM, Furuya Y, Yasuda H and Udagawa N (2017) The W9 peptide directly stimulates osteoblast differentiation via RANKL signaling. *Journal of Oral Biosciences* **59**: 146–51

Murakami K, Kobayashi Y, Uehara S, Suzuki T, Koide M, Yamashita T, Nakamura M, Takahashi N, Kato H, Udagawa N and Nakamura Y (2017) A Jak1/2 inhibitor, baricitinib, inhibits osteoclastogenesis by suppressing RANKL expression in osteoblasts in vitro. *PLoS One* **12**: e0181126

Koide M, Kobayashi Y, Yamashita T, Uehara S, Nakamura M, Hiraoka BY, Ozaki Y, Iimura T, Yasuda H, Takahashi N and Udagawa N (2017) Bone Formation is coupled to resorption via suppression of sclerostin expression by osteoclasts. *J Bone Mineral Res* **32**: 2074–86

Ozaki Y, Koide M, Furuya Y, Ninomiya T, Yasuda H, Nakamura M, Kobayashi Y, Takahashi N, Yoshinari N and Udagawa N (2017) Treatment of OPG–deficient mice with WP9QY, a RANKL–binding peptide, recovers alveolar bone loss by suppressing osteoclastogenesis and enhancing osteoblastogenesis. *PLoS One* **12**: e0184904

Lee JW, Hoshino A, Inoue K, Saitou T, Uehara S, Kobayashi Y, Ueha S, Matsushima K, Yamaguchi A, Imai Y and Iimura T (2017) The HIV co–receptor CCR5 regulates osteoclast function. *Nat Commun* **8**: 2226

Toray H, Hasegawa T, Sakagami N, Tsuchiya E, Kudo A, Zhao S, Moritani Y, Abe M, Yoshida T, Yamamoto T, Yamamoto T, Oda K, Udagawa N, Luiz de Freitas PH and Li M (2017) Histochemical assessment for osteoblastic activity coupled with dysfunctional osteoclasts in c–src deficient mice. *Biomed Res* **38**: 123–34

その他学術著作物

宇田川信之, 中村美どり, 中村浩志 (2017) 硬組織 (歯・骨) とフッ素. *腎と骨代謝* **29**: 63–70

小林泰浩, 山下照仁 (2017) 骨免疫学の進歩が変える骨関節疾患アプローチ: Wnt シグナルと骨代謝・骨疾患. *THE BONE* 31: 157-62

山下照仁 (2017) 注目の海外文献: GDF11は破骨細胞分化の促進と骨芽細胞分化の抑制により骨量を減少させる. *CLINICAL CALCIUM* 27: 1026-7

山下照仁 (2017) 注目の海外文献: セロトニン再取り込み阻害薬は中枢性に作用し, 骨量減少を起こす. *CLINICAL CALCIUM* 27: 1027-8

宇田川信之 (2017) ASBMR 2016トピックス〜基礎研究(破骨細胞・骨吸収関連)〜. *CLINICAL CALCIUM* 27: 128-32

招待講演

日本骨免疫学会 ウィンターセミナー (第2回) 2017年1月

Progress of osteoclast biology: Takahashi N

鶴見大学歯学部歯科薬理学講座セミナー 2017年2月

骨リモデリングの分子機構: 宇田川信之

明海大学歯学部FD研修会 2017年2月

松本歯科大学における教育改革の現状と課題: 宇田川信之

松本歯科大学校友会静岡県支部学術講演会 2017年3月

骨は生きている—骨吸収と骨形成のカップリング—: 宇田川信之

産業医科大学第一内科学大学院特別セミナー 2017年6月

生命を支えている臓器としての骨組織—骨吸収と骨形成のカップリング機構—: 宇田川信之

日本骨代謝学会学術集会 (第35回) 2017年7月

須田先生と骨代謝研究: 高橋直之

Bone Biology Forum (第14回) 2017年8月

Roles of VDR in osteoblasts and osteoclasts for vitamin D-induced increase in bone mass: Nakamichi Y

Neo Vitamin D Workshop (第3回) 2017年8月

骨ミネラル代謝における骨芽細胞および骨細胞のVDRの役割: 中道裕子

25(OH)Dを考える会 (第4回) 2017年9月

骨ミネラル代謝における骨芽細胞/骨細胞のVDRの役割: 中道裕子

歯科基礎医学会学術大会 (第59回) 2017年9月

Regulation of sclerostin expression by bone resorption: Koide M

Roles of Wnt signals in bone resorption: Kobayashi Y and Uehara S

骨カップリングにおけるOPGの重要性: 宇田川信之

オーラルサイエンス研究会 (第1回) 2017年10月

破骨細胞に魅せられて—破骨細胞の分化を調節する骨芽細胞—: 宇田川信之

町田市歯科医師会講演会 2017年12月

骨は生きている—骨吸収と骨形成のカップリング機構と各種骨粗鬆症治療薬の作用機序—: 宇田川信之

2017年 Dentistry, Quo Vadis? 2017年12月

デノスマブが骨代謝研究に与えた影響: 高橋直之

学会発表

日本骨免疫学会 ウィンターセミナー (第2回) 2017年1月

破骨細胞におけるRor2シグナルは炎症性骨破壊を増悪する: 上原俊介, 山下照仁, 中村 貴, 加藤茂明, 宇田川信之, 高橋直之, 小林泰浩 (第2回日本骨免疫学会 ウィンターセミナー抄録集: p23, WO4)

破骨細胞が分泌するLIFはsclerostinの発現を低下させ, 骨形成を促進する: 小出雅則, 小林泰浩, 山下照仁, 上原俊介, 尾崎友輝, 中村美どり, 高橋直之, 宇田川信之 (第2回日本骨免疫学会 ウィンターセミナープログラム抄録集: p24, WO5)

骨芽細胞系列のビタミンD受容体(VDR)は, ビタミンDによる骨量上昇効果とミネラル代謝に関与する: 中道裕子, 堀部寛治, 溝口利英, 山本陽子, 中村貴, 細矢明宏, 加藤茂明, 須田立雄, 宇田川信之, 高橋直之 (第2回日本骨免疫学会 ウィンターセミナープログラム抄録集: p27, WO11)

オステオプロテゲリン(OPG)の心血管リモデリングにおける重要性: 宇田川信之, 鶴田敏博, 中村美どり (第2回日本骨免疫学会 ウィンターセミナープログラム抄録集: p31, WP3)

Vitamin D Workshop (第20回) 2017年3月

Vdr in osteoblast-lineage cells primarily mediates a 1 α ,25(OH)2D3 derivative-induced increase in bone mass by suppressing bone resorption: Nakamichi Y, Udagawa N, Horibe K, Mizoguchi T, Yamamoto Y, Nakamura T, Hosoya A, Kato S, Suda T and Takahashi N (Proceedings of the 20th Vitamin D Workshop, J Steroid Biochem Mol Biol 177: 70-76, 2018)

日本骨免疫学会 (第3回) 2017年6月

Wnt5a-Ror2-Rho-Pkn3シグナルによる破骨細胞の骨吸収機能制御: 小林泰浩, 上原俊介, 山下照仁, 中村 貴, 加藤茂明, 宇田川信之, 高橋直之 (第3回日本骨免疫学会プログラム: p23, P6-1)

破骨細胞と骨芽細胞の分化を制御するRANKL信号伝達—W9ペプチドを用いた解析—: 宇田川信之, 中村美どり, 古屋優里子, 保田尚孝 (第3回日本骨免疫学会プログラム: p24, P6-7)

日本骨代謝学会学術集会 (第35回) 2017年7月

Wnt5a-Ror2シグナルによる骨吸収活性調節の病

態モデルにおける役割：上原俊介，山下照仁，中村貴，加藤茂明，宇田川信之，高橋直之，小林泰浩（第35回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p158，O-014）

腱靭帯付着部（enthesis）において Annexin A5は線維軟骨の分化を負に制御する：島田明美，新井嘉則，小松浩一郎，和田悟史，出野 尚，中島和久，山下照仁，江面陽一，網塚憲生，中村芳樹，二藤彰（第35回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p170，O-061）

W9ペプチド投与による OPG 遺伝子欠損マウスの歯槽骨喪失の改善効果：尾崎友輝，小出雅則，古屋優理子，二宮 禎，保田尚孝，中村美どり，吉成伸夫，高橋直之，宇田川信之（第35回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p172，O-72）

破骨細胞由来の LIF は骨細胞における sclerostin の発現を低下させ，骨形成を促進する：小出雅則，小林泰浩，山下照仁，上原俊介，尾崎友輝，飯村忠浩，中村美どり，保田尚孝，高橋直之，宇田川信之（第35回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p174，O-79）

有袋類や単孔類のカルシトニンは強力な生物活性を持つ：山下照仁，宇田川信之，山内広世，鈴木信雄，上原俊介，小林泰浩，高橋直之（第35回日本骨代謝学会プログラム抄録集：p185，O-124）

Bone Biology Forum（第14回）2017年8月

Osteoclast-derived LIF promotes bone formation through suppression of sclerostin expression: Koide M, Kobayashi Y, Yamashita T, Uehara S, Nakamura M, Hiraoka BY, Ozaki Y, Iimura T, Yasuda H, Takahashi N and Udagawa N

The American Society for Bone and Mineral Research (ASBMR) 2017 Annual Meeting 2017年9月

Anti-Siglec-15 antibody inhibits bone-resorbing activity of osteoclasts and stimulates osteoblast differentiation: Udagawa N, Uehara S, Koide M, Arai A, Mizoguchi T, Nakamura M, Kobayashi Y, Takahashi N, Fukuda C and Tsuda E (J Bone Miner Res Suppl 32 : p349)

歯科基礎医学会学術大会（第59回）2017年9月

カモノハシやオポッサムのカルシトニンは非哺乳類と同様に強力な生物活性を持つ：山下照仁，宇田川信之，上原俊介，小林泰浩，高橋直之（第59回歯科基礎医学会学術大会抄録集，J Oral Biosci Suppl : p232，O2-D1）

Ror2-Rho-Pkn3シグナルは破骨細胞の骨吸収活性を促進する：上原俊介，山下照仁，宇田川信之，高橋直之，小林泰浩（第59回歯科基礎医学会学術大会抄録集，J Oral Biosci Suppl : p237，O2-D6）

ヒストンメチル化酵素 G9a による破骨細胞分化制御への関与：小松浩一郎，出野 尚，島田明美，中島

和久，山下照仁，宇田川信之，二藤 彰（第59回歯科基礎医学会学術大会抄録集，J Oral Biosci Suppl : p411，P2-12）

破骨細胞由来の LIF は sclerostin の発現低下を介して，骨形成を促進する：小出雅則，小林泰浩，山下照仁，上原俊介，中村美どり，平岡行博，尾崎友輝，飯村忠浩，高橋直之，宇田川信之（第59回歯科基礎医学会学術大会抄録集，J Oral Biosci Suppl : p239，O2-D8）

W9ペプチド投与による OPG 遺伝子欠損マウスの歯槽骨喪失の改善効果：尾崎友輝，小出雅則，古屋優理子，二宮 禎，保田尚孝，中村美どり，吉成伸夫，高橋直之，宇田川信之（第59回歯科基礎医学会学術大会抄録集，J Oral Biosci Suppl : p413，P2-14）

カテプシン K 阻害剤投与は，オステオプロテグリン欠損マウスにおいて，骨吸収抑制と共に骨形成促進作用を示す：中村美どり，中道裕子，溝口利英，小林泰浩，高橋直之，宇田川信之（第59回歯科基礎医学会学術大会抄録集，J Oral Biosci Suppl : p414，P2-15）

オーラルサイエンス研究会（第1回）2017年10月

破骨細胞由来の LIF は骨細胞における sclerostin の発現を低下させ，骨形成を促進する：小出雅則，小林泰浩，山下照仁，上原俊介，尾崎友輝，中村美どり，高橋直之，宇田川信之

松本歯科大学学会（第85回）2017年11月

JAK1/2阻害薬 baricitinib は骨芽細胞の RANKL 発現を抑制することで破骨細胞の分化を抑制する：村上康平，上原俊介，中村美どり，宇田川信之，小出雅則，山下照仁，小林泰浩，高橋直之，中村幸男（講演要旨集：p1，演題1）

国際歯科研究学会日本部会総会・学術大会（第65回）2017年11月

Treatment of cathepsin K inhibitor in osteoprotegerin-deficient mice inhibits bone resorption and stimulates bone formation: Udagawa N, Nakamura M, Nakamichi Y, Mizoguchi T, Kobayashi Y and Takahashi N（第65回国際歯科研究学会プログラム：p28，78）

Wnt5a-Ror2 signaling promotes osteoclast function via Daam2-Rho-Pkn3 pathways: Uehara S, Udagawa N, Yamashita T, Murakami K, Takahashi N and Kobayashi Y（第65回国際歯科研究学会プログラム：p37，150）

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

小林泰浩，高橋直之，上原俊介，山下照仁，平賀徹：Wntシグナルネットワークを基盤とした歯槽骨代謝回転制御法の開発（基盤研究A）

齋藤直人，佐々木克典，樽田誠一，宇田川信之，Kim Yoong Ahm：CNTを応用した高機能生体材料

創製のための CNT・生体界面技術の構築と安全性評価 (基盤研究 A)

高橋直之, 小林泰浩, 中村浩彰, 南 康博, 宇田川信之, 荒 敏昭: 骨代謝共役を担うクラスロイン Wnt シグナルネットワークの解明 (基盤研究 B)

宇田川信之, 小出雅則, 中道裕子, 中村美どり, 溝口利英, 上原俊介: 破骨細胞からの骨形成シグナルを利用した歯周病治療薬の応用開発 (基盤研究 B)

溝口利英, 荒井 敦, 小林泰浩, 宇田川信之, 細矢明宏: フェイトマッピング解析法を用いた歯髓幹細胞が司る象牙質再生機構の全容解明 (基盤研究 B)

吉田明弘, 田口 明, 吉成伸夫, 宇田川信之: モロッコ王国における侵襲性歯周炎の発症を制御する因子の細菌・免疫学的解析 (基盤研究 B)

中村浩彰, 宇田川信之, 堀部寛治: 組織マクロファージによる歯髓微小環境調節機構の解明と歯髓組織再生法の開発 (基盤研究 B)

山下照仁, 二宮 禎, 高橋直之: 骨細胞への最終分化を方向付ける決定因子の探索 (基盤研究 C)

中村美どり, 大須賀直人, 溝口利英, 宇田川信之, 中村浩志, 中道裕子: 硬組織再生におけるヒト歯髓細胞の有用性に関わる研究 (基盤研究 C)

中道裕子, 宇田川信之: 非典型的 Wnt 受容体 Ryk シグナルによる骨形成および骨ミネラル代謝制御機構の解明 (基盤研究 C)

小出雅則, 二宮 禎, 宇田川信之: 歯槽骨吸収モデルを用いた RANK 様ペプチドによる骨再生の試み (基盤研究 C)

上原俊介, 小林泰浩, 細矢明宏: Pkn3 が制御する破骨細胞骨吸収機構の解明 (基盤研究 C)

島田明美, 二藤 彰, 小松浩一郎, 山下照仁: マウスモデルを用いたブラキシズム発症におけるアネキシン A5 の機能解析 (基盤研究 C)

石原裕一, 吉成伸夫, 小出雅則: クロフィブラートの IL-1Ra 産生と実験的歯周炎抑制効果に関する研究 (基盤研究 C)

二宮 禎, 小出雅則, 中村浩彰, 平賀 徹: 細胞間ミトコンドリア輸送因子 RhoT1 の歯周組織修復に対する機能解析 (基盤研究 C)

中村浩志, 八上公利, 宇田川信之, 大須賀直人, 定岡 直, 中村美どり: 植物由来低分子ポリフェノールの骨代謝改善作用 (基盤研究 C)

宇田川信之, 小出雅則, 吉成伸夫, 中村美どり, 中本哲自, 上原俊介: 抗加齢因子としてのオステオプロテゲリンの新しい機能の解析と臨床応用 (挑戦的研究 (萌芽))

その他の研究助成

高橋直之: 新規分子標的薬の作用メカニズム研究 (第一三共株式会社との共同研究)

高橋直之, 中道裕子: ビタミン D と Wnt シグナ

ルによる骨ミネラル代謝制御機構に関する基礎的研究 (中外製薬からの寄付)

硬組織疾患制御再建学部門 遺伝子・再生工学ユニット

論文発表

Koide M, Kobayashi Y, Yamashita T, Uehara S, Nakamura M, Hiraoka BY, Ozaki Y, Iimura T, Yasuda H, Takahashi N and Udagawa N (2017) Bone Formation Is Coupled to Resorption Via Suppression of Sclerostin Expression by Osteoclasts. *J Bone Miner Res* **32**(10): 2074-86

学会発表

第85回松本歯科大学学会 2017年11月

Porphyromonas gingivalis の硫化水素産生酵素の同定およびマウス生体反応の解析: 中村 卓, 塩屋幸樹, 平岡行博, 谷口奈央, 吉成伸夫, 安細敏弘, 吉田明弘

第59回歯科基礎医学会学術大会 (塩尻) 2017年9月

マウスにおける *Porphyromonas gingivalis* の硫化水素産生酵素による生体反応の解析: 塩屋幸樹, 平岡行博, 吉田明弘 (抄録集: 45)

第59回歯科基礎医学会学術大会 (塩尻) 2017年9月

破骨細胞由来の LIF は sclerostin の発現低下を介して, 骨形成を促進する: 小出雅則, 小林泰浩, 山下照仁, 上原俊介, 中村美どり, 平岡行博, 尾崎友輝, 飯村忠浩, 高橋直之, 宇田川信之 (抄録集: 239)

硬組織疾患制御再建学部門 硬組織疾患病態解析学ユニット

著 書

Kawakami T, Tsujigiwa H, Takaya T, Kaneko K, Mimura H, Matsuda S, Muraoka R, Tomida M, Okafuji N, Fujii T, Nakano K and Nagatsuka H (2017) *Advances in Medicine and Biology*, Vol. 111, Chapter 9, Injury and recovery of the periodontal ligament: From a view point of developmental biology, pp173-220. In Berhardt LV ed., Nova Biomedical Publisher, NY, USA

Kawakami T, Tsujigiwa H, Takaya T, Kaneko K, Mimura H, Matsuda S, Muraoka R, Tomida M, Okafuji N, Fujii T, Nakano K and Nagatsuka H

(2017) Injury and recovery of the periodontal ligament: From a view point of developmental biology. *Medicine Research Summaries*, Vol. 20, Chapter 56, pp111–4, In Liang Z and Zhang B ed., Nova Biomedical Publisher, NY, USA

論 文

Muraoka R, Nakano K, Yamada K and Kawakami T (2017) HSP47 as a possible molecular chaperone for the collagen synthesis in the mouse periodontal ligament cells due to orthodontic force. *Int J Dent Oral Sci* 4(1) : 387–94

Nishikawa Y, Matsuda S, Nakayasu Y, Toriya Y, Yokoi Y, Shoumura M, Okafuji N, Kawakami T and Osuga N (2017) Reactions of the dentin–pulp complex to calcium hydroxide paste in rats. *J Hard Tissue Biol* 26(2) : 171–7

Nakayasu Y, Matsuda S, Moriyama K, Okafuji N, Mizohata A, Shoumura M, Kawakami T and Osuga N (2017) Reactions to bioabsorbable suture thread embedded in rat subcutaneous tissue. *J Hard Tissue Biol* 26(3) : 281–4

Moriyama K, Matsuda S, Matsuda A, Kida A, Mizushima H, Mitsui E, Shoumura M, Kawakami T and Osuga N (2017) Histochemical characteristics of tertiary dentin due to calcium hydroxide paste in rats. *J Hard Tissue Biol* 26(3) : 285–8

学会発表

日本病理学会総会（第106回）2017年4月（東京）
エナメル上皮線維腫における Wnt と β -catenin の発現：中野敬介，高島清文，杉田好彦，久保勝俊，前田初彦，川上敏行，長塚 仁（日病会誌 106(1) : 723, 2017)

日本外傷歯学会総会・学術大会（第17回）2017年7月（名古屋）

マウス臼歯の髄床底穿孔による歯根膜ポリープ形成における細胞の移動と分化：松田紗衣佳，辻極秀次，中野敬介，岡藤範正，正村正仁，大須賀直人，川上敏行（プログラム抄録集：P26, 2017）

口腔裂傷時の筋層縫合に使用する吸収性縫合糸 Vicryl® に対するラット皮下組織の反応：中安喜一，松田紗衣佳，岡藤範正，正村正仁，大須賀直人，川上敏行（プログラム抄録集：P27, 2017）

Asia Pacific Congress & Expo on Dental and Oral Health (28th) 2017年7月（クアラランブール，マレーシア）

Cell differentiation due to Wnt signaling in ameloblastic fibromas: Kawakami T, Nakano K, Ueda Y, Takabatake K, Yoshida W, Sugita Y, Kubo K,

Maeda H and Nagatsuka H (Oral Health Dent Manag 16(3) : 43, 2017)

硬組織再生生物学会総会（27回）2017年8月（岡山）
歯根膜における骨髄由来未分化間葉細胞の局所特有の線維芽細胞への分化：松田紗衣佳，辻極秀次，中野敬介，岡藤範正，長塚 仁，正村正仁，大須賀直人，川上敏行（J Hard Tissue Biol 26 : 434–5, 2017；プログラム抄録集：p41, 2017）

吸収性縫合糸 Vicryl® に対するラット皮下組織の反応：中安喜一，松田紗衣佳，森山敬太，岡藤範正，正村正仁，大須賀直人，川上敏行（J Hard Tissue Biol 26 : 435, 2017；プログラム抄録集：p42, 2017）

小児の上顎に発生した歯原性角化嚢胞の病理組織学的検討：上田優貴子，中野敬介，長谷川博雅，川上敏行（J Hard Tissue Biol 26 : 435, 2017；プログラム抄録集：p43, 2017）

日本口腔科学会中部地方部会（60回）2017年9月（名古屋）

マウス臼歯の髄床底穿孔による歯根膜ポリープ形成における細胞の移動と分化：松田紗衣佳，正村正仁，大須賀直人，中野敬介，辻極秀次，長塚 仁，川上敏行（プログラム抄録集：P33, 2017）

水酸化カルシウム系糊材に対するラットの象牙質・歯髄複合体の組織化学的検討：森山敬太，松田紗衣佳，正村正仁，川上敏行，大須賀直人（プログラム抄録集：P33）

吸収性縫合糸 Vicryl® をラット皮下組織内に埋入した時に出現する異物肉芽腫：中安喜一，松田紗衣佳，森山敬太，正村正仁，辻極秀次，中野敬介，長塚 仁，大須賀直人，川上敏行（プログラム抄録集：P34, 2017）

歯科基礎医学会総会（59回）2017年9月（塩尻）

ラットの皮下組織内に埋入した吸収性縫合糸 Vicryl® に対し出現するマクロファージ：中安喜一，松田紗衣佳，森山敬太，正村正仁，辻極秀次，中野敬介，長塚 仁，大須賀直人，川上敏行（J Oral Biosci 59 (S) : 363, 2017）

骨髄由来細胞の歯根膜ポリープにおける局所特有の線維芽細胞への移動と分化：松田紗衣佳，正村正仁，大須賀直人，辻極秀次，中野敬介，川上敏行（J Oral Biosci 59(S) : 367, 2017）

水酸化カルシウム系糊材に対するラットの象牙質・歯髄複合体の反応：森山敬太，松田紗衣佳，正村正仁，川上敏行，大須賀直人（J Oral Biosci 59(S) : 429, 2017）

メカニカルストレスが惹起する HSP70 によるマウス歯根膜の修復：村岡理奈，中野敬介，山田一尋，川上敏行（J Oral Biosci 59(S) : 437, 2017）

マウス歯周組織改造における骨髄間葉系細胞の移動と分化：金子圭子，辻極秀次，松田紗衣佳，中野敬介，村岡理奈，長塚 仁，川上敏行（J Oral Biosci 59(S) : 439, 2017）

日本矯正歯科学会大会 (第76回) 2017年10月 (札幌)
 歯科矯正学メカニカルストレス負荷によるマウス
 歯周組織の細胞動態: 村岡理奈, 金子圭子, 川上
 敏行, 山田一尋 (プログラム抄録集: P180, 2017)

日本口腔外科学会総会 (62回) 2017年10月 (京都)
 エナメル上皮線維腫における Wnt シグナルと細胞
 分化: 上田優貴子, 中野敬介, 高島清文, 吉田和加,
 杉田好彦, 久保勝俊, 前田初彦, 長塚 仁, 川上敏行.
 (日口外誌 63(S): 331, 2017)

受賞

28th Asia Pacific Congress on Dental and Oral
 Health 2017年7月 (クアラランプール, マレー
 シア)

Best Poster Award (Second Prize): Cell differen-
 tiation due to Wnt signaling in ameloblastic fibro-
 mas: Kawakami T (Oral Health Dent Manag 16
 (3): 43, 2017)

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

川上敏行, 富田美穂子, 前田初彦, 長塚 仁: 口
 腔増殖性病変の病理発生における細胞の増殖・移動
 そして分化機構の解明 (基盤研究 C)

富田美穂子, 川上敏行, 寺田智新: ストレスによ
 る生体反応が痛覚伝導路に与える影響 (基盤研究 C)

正村正仁, 中野敬介, 辻極秀次, 川上敏行, 大須賀
 直人: 象牙質歯髄複合体の修復における骨髄間葉系
 細胞の関与 (基盤研究 C)

硬組織疾患制御再建学部門

生体材料学ユニット

論文発表

Nakamichi Y, Udagawa N, Horibe K, Mizoguchi
 T, Yamamoto Y, Nakamura T, Hosoya A, Kato S,
 Suda T and Takahashi N (2017) VDR in osteo-
 blast-lineage cells primarily mediates vitamin D
 treatment-induced increase in bone mass by sup-
 pressing bone resorption. J Bone Miner Res 32:
 1297-308

Yang M, Arai A, Udagawa N, Hiraga T, Lijuan Z,
 Ito S, Komori T, Moriishi T, Matsuo K, Shimoda K,
 Zahalka HA, Kobayashi Y, Takahashi N and Mizo-
 guchi T (2017) Osteogenic factor Runx2 marks a
 subset of leptin receptor-positive cells that sit atop
 the bone marrow stromal cell hierarch. Sci Rep 7:
 4928

Nakamura M, Nakamichi Y, Mizoguchi T, Koide

M, Yamashita T, Ara T, Nakamura H, Penninger
 JM, Furuya Y, Yasuda H and Udagawa N (2017)
 The W9 peptide directly stimulates osteoblast dif-
 ferentiation via RANKL signaling. Journal of Oral
 Biosciences 59: 146-51

学会発表

日本骨免疫学会 ウィンターセミナー (第2回)
 2017年1月

骨芽細胞系列のビタミンD受容体 (VDR) は, ビ
 タミンDによる骨量上昇効果とミネラル代謝に関与
 する: 中道裕子, 堀部寛治, 溝口利英, 山本陽子,
 中村貴, 細矢明宏, 加藤茂明, 須田立雄, 宇田川信之,
 高橋直之 (第2回日本骨免疫学会 ウィンターセミナー
 プログラム抄録集: p27, WO11)

Vitamin D Workshop (第20回) 2017年3月

Vdr in osteoblast-lineage cells primarily medi-
 ates a 1 α ,25(OH)2D3 derivative-induced increase
 in bone mass by suppressing bone resorption:
 Nakamichi Y, Udagawa N, Horibe K, Mizoguchi T,
 Yamamoto Y, Nakamura T, Hosoya A, Kato S,
 Suda T and Takahashi N (Proceedings of the 20th
 Vitamin D Workshop, J Steroid Biochem Mol Biol
 177: 70-6, 2018)

The American Society for Bone and Mineral Re-
 search (ASBMR) 2017 Annual Meeting 2017年9月

Anti-Siglec-15 antibody inhibits bone-resorbing
 activity of osteoclasts and stimulates osteoblast dif-
 ferentiation: Udagawa N, Uehara S, Koide M, Arai
 A, Mizoguchi T, Nakamura M, Kobayashi Y, Taka-
 hashi N, Fukuda C and Tsuda E (Jornal of Bone
 Miner Res Suppl 32: p349)

歯科基礎医学会学術大会 (第59回) 2017年9月

カテプシンK阻害剤投与は, オステオプロテグリ
 ン欠損マウスにおいて, 骨吸収抑制と共に骨形成促
 進作用を示す: 中村美どり, 中道裕子, 溝口利英,
 小林泰浩, 高橋直之, 宇田川信之 (第59回歯科基礎
 医学会学術大会抄録集: J Oral Biosci Suppl: p414,
 P2-15)

国際歯科研究学会日本部会総会・学術大会 (第65
 回) 2017年11月

Treatment of cathepsin K inhibitor in osteoprote-
 gerin-deficient mice inhibits bone resorption and
 stimulates bone formation: Udagawa N, Nakamura
 M, Nakamichi Y, Mizoguchi T, Kobayashi Y and
 Takahashi N (第65回国際歯科研究学会プログラ
 ム: p28, 78)

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

宇田川信之, 小出雅則, 中道裕子, 中村美どり,

溝口利英, 上原俊介: 破骨細胞からの骨形成シグナルを利用した歯周病治療薬の応用開発 (基盤研究 B)
 溝口利英, 荒井 敦, 小林泰浩, 宇田川信之, 細矢明宏: フェイトマッピング解析法を用いた歯髓幹細胞が司る象牙質再生機構の全容解明 (基盤研究 B)
 中村美どり, 大須賀直人, 溝口利英, 宇田川信之, 中村浩志, 中道裕子: 硬組織再生におけるヒト歯髓細胞の有用性に関わる研究 (基盤研究 C)

硬組織疾患制御再建学部門
 臨床病態評価学ユニット

論文発表

Luo T, Liu H, Feng W, Liu D, Du J, Sun J, Wang W, Han X, Guo J, Amizuka N, Li X and Li M (2017) CXCL12/CXCR4 signaling pathway. *Cell Prolif* **50**, doi: 10.1111/cpr.12317

学会発表

Translational Opportunities in Stem Cell Research (Basel) 2017年2月

Effect of cell processing protocol on the clinical result of bone tissue engineering: Kagami H, Inoue M, Li X, Nagamura-Inoue T, Tojo A and Yamashita N

第66回日本口腔衛生学会 2017年6月 (山形)

齶蝕活動性試験項目と歯肉炎との関連性: 薦田智, 内川竜太郎, 定岡 直, 川原一郎, 富田美穂子, 土屋総一郎, 八上公利

間葉系幹細胞におけるクロモグラニン A の発現と動態について: 定岡 直, 薦田 智, 内川竜太郎, 川原一郎, 富田美穂子, 土屋総一郎, 八上公利

第59回歯科基礎医学会学術大会 2017年9月

大学病院における閉鎖型自動細胞培養装置を用いた細胞培養とその経過: 各務秀明, 李 憲起, 秋山裕和, 市村昌紀, 宇田川信之

第85回松本歯科大学学会 (塩尻) 2017年11月

ステロイド投与が培養骨の骨形成過程に及ぼす影響: 李 憲起, 楊 静, 芳澤享子, 各務秀明

第21回日本口腔顎顔面インプラント学会総会・学術大会 (富山) 2017年12月

短期間ステロイド投与が培養骨の骨形成過程に与える影響: 李 憲起, 楊 静, 芳澤享子, 各務秀明

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

李 憲起, 高田匡基, 楊 静, 各務秀明: 骨再生過程に及ぼす炎症の影響に関する検討 (基盤研究 C (代表))

顎口腔機能制御学部門
 咀嚼機能解析学ユニット

著 書

増田裕次, 竹花快恵 (分担) (2017) 咀嚼と口唇機能. In 新よくわかる 顎口腔機能 日本顎口腔機能学会 (編), p146-7, 医歯薬出版, 東京

五十嵐順正, 増田裕次 (共著) (2017) 咬合挙上をうまくなりたい, クインテッセンス出版, 東京

増田裕次, 竹花 快 (分担) (2017) Q32入れ歯の高さを決めることがなぜ大切なの? Q47咀嚼における口唇の役割は何?. In 咀嚼の本2, 特定非営利活動法人 日本咀嚼学会 (編), p124-5, p154-5, 口腔保健協会, 東京

竹花快恵, 杉立尚城, 大川敏英, 黒木垂津沙, 小飯塚仁美, 倉持淳子, 田中優香, 田中祐貴, 中島利徳, 山本沙織, 小川 徹, 増田裕次 (2017) 咀嚼回数計数の計数に用いる外耳道ひずみ波形の処理・分析. In 顎口腔機能の評価法・研究法—2015—, 日本顎口腔機能学会 (編), p54-7, 八木印刷, 徳島

論文発表

Zakir HM, Shinoda M, Unno S, Anco H, Masuda Y, Iwata K and Kitagawa J (2017) Involvement of microglia and astroglia in modulation of the orofacial motor functions in neuropathic-pain rats. *J Oral Biosci* **50**(2) : 134-41

Takehana Y, Masuda Y, Kageyama T, Okazaki R, Murakami M and Yamada K (2017) The relationship between lip-closing force and dental arch morphology in patient with Angle Class I malocclusion. *J Oral Rehabil* **44**(3) : 205-12

Zakir HM, Unno S, Ando H, Masuda Y and Kitagawa J (2017) Neuron-glia crosstalk and neuropathic pain: Involvement in the modulation of motor activity in the orofacial region. *Int J Mol Sci* **18** : 2051

Yamada T, Matsuo K, Izawa M, Yamada S, Masuda Y and Ogasawara T (2017) Effects of age and viscosity on food transport and breathing-swallowing coordination during eating of two-phase food in nursing home residents. *Geriatr Gerontol Int* **17** : 2171-7

増田裕次 (2017) 咀嚼運動のメカニズム. 月刊難病とケア **22**(12) : 23-6

山田晋司, 小笠原 正, 岡田芳幸, 伊沢正行, 磯野員達, 増田裕次, 靱島弘之 (2017) 口唇閉鎖訓練の継続と中止による口唇閉鎖力の変化. 日摂食嚥下リハ会誌 **21** : 136-44

学会発表

- 第36回日本歯科医学教育学会顎日大会 2016年7月 (松本市 M ウィング)
 歯学部における生理学実習教育へのチーム基盤型学習導入の試み: 海野俊平, Zakir HM, 安藤 宏, 増田裕次, 北川純一 (第36回日本歯科医学教育学会学術大会, プログラム・抄録集: 2017)
 Oral Neuroscience 2017 2017年8月 (吹田市 大阪大学)
 Involvement of TRPM8 in mediating the superior laryngeal nerve activity and facilitating the triggering of swallowing reflex: Zakir HM, Unno S, Ando H, Masuda Y and Kitagawa J (Oral Neuroscience 2017; Program & Abstract 2017)
 第59回歯科基礎医学会学術大会 2017年9月 (塩尻 松本歯科大学)
 口唇機能評価の確立と新しい口唇トレーニングシステムの開発: 竹花快恵, 増田裕次, 影山 徹, 山田一尋 (歯科基礎医学会, プログラム・抄録集: 2017)
 咽頭・喉頭に発現する TRP チャンネルとその生理学的機能の解析: Zakir HM, 海野俊平, 安藤 宏, 増田裕次, 北川純一 (歯科基礎医学会, プログラム・抄録集: 2016)
 第85回松本歯科大学学会 (例会) 2017年11月 (塩尻 松本歯科大学)
 咽頭・喉頭領域における TRPV1および TRPM8の発現: 安藤 宏, Zakir HM, 海野俊平, 増田裕次, 北川純一 (松本歯学 43(2): p166, 2017)
 咽頭・喉頭領域における TRPV1および TRPM8の生理学的機能の解明: 海野俊平, Zakir HM, 安藤 宏, 増田裕次, 北川純一 (松本歯学 43(2): p167, 2017)
 外耳道ひずみで咀嚼回数を測定する試み—3D プリントによるセンサー部の作製—: 菅生秀昭, 北澤富美, 三溝恒幸, 倉澤郁文, 増田裕次 (松本歯学 43(2): p169, 2017)
 第11回三叉神経感覚—運動統合機構研究会 2017年12月 (吹田市 ホテル阪急エキスポパーク)
 口唇トレーニングによって顎下部のたるみはひきしまるか?: 山田蘭子, 北川純一, 増田裕次 (第11回三叉神経感覚—運動統合機構研究会, 2017)

特別講演

- 第36回日本歯科医学教育学会学術大会 シンポジウム—大学生の学び— 2016年7月 (松本市 M ウィング)
 歯科大学の学びへの歩み: 増田裕次
 日本咀嚼学会第28回学術大会 市民フォーラム 2017年9月 (東京 日本歯科大学)
 咀嚼の効用: 増田裕次

講演会

- 長野県歯科衛生士会 地域歯科保健研修研修会 2017年3月 (安曇野市 豊科ふれあいホール)
 咀嚼機能の老化: 増田裕次
 塩尻ロマン大学 2017年7月 (塩尻市保健センター)
 口は「幸せ」のもと—口腔機能の向上で健康生活: 増田裕次
 長野県栄養士会中信支部 研修会 2017年7月 (松本市 松本大学)
 口と栄養と健康: 増田裕次
 松本歯科大学 市民公開講座 2017年7月 (松本市松南地区公民館)
 噛むことが食生活を豊かにする: 増田裕次
 第17回日本咀嚼学会健康咀嚼指導士認定研修会 2017年8月 (東京 東京医科歯科大学)
 咀嚼の意義と健康咀嚼指導士: 増田裕次
 ライス EXPO ジャパンキックオフセミナー 2017年11月 (新潟市 朱鷺メッセ)
 噛むことを意識させるカムカムメニューで健康長寿: 増田裕次

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

- 増田裕次: 外耳道のひずみの計測波形から咀嚼回数を計数する装置の開発 (挑戦的萌芽研究) (代表)
 増田裕次: CT と顎運動, 筋活動測定による矯正治療後の顎関節形態と顎機能の調和に関する研究 (基盤研究 C) (分担: 代表者 山田一尋)
 増田裕次: 包括的な生理学的根拠に基づく新たな嚙下障害の治療法の検討 (基盤研究 C) (分担: 代表者 北川純一)
 増田裕次: 咽頭・喉頭領域における TRP チャンネルの生理学的機能の検討: 「のどごし」と嚙下誘発 (基盤研究 C) (分担: 代表者 安藤 宏)

その他の研究補助金による研究

- 増田裕次: 自立高齢者を増やすための革新的食品提供システムの開発 (戦略的国際共同研究プログラム日本—スウェーデン共同研究 JST) (分担: 代表者 松尾浩一郎)

顎口腔機能制御学部門
 生体調節制御学ユニット

論文発表

- Ando H, Imamura Y, Tadokoro O, Hossin MZ, Unno S, Sogawa N, Kondo E and Kitagawa J

(2017) Expression of Calcium-Binding Proteins, Calbindin D28k and Calretinin, in the Frog Taste Receptor Structures. *Neurophysiol* **49** : 254-60

健康増進口腔科学部門
口腔健康分析学ユニット

学会発表

第122回日本解剖学会総会・全国学術集会 2017年3月(長崎)

内腸骨静脈が腸骨間静脈に注ぐ重複下大静脈の一例と新たな分類の試み: 吉田美加, 渡邊剛樹, 山口久穂, 宮野宏子, 田所 治, 嵯峨 堅, 前田信吾, 奥村雅代, 金銅英二, 矢ヶ崎 裕

第122回日本解剖学会総会・全国学術集会 2017年3月(長崎)

カエルの舌におけるVIP, SP, PLC β 2免疫反応神経の分布と起源: 田所 治, 安藤 宏, 川原一郎, 大野伸彦, Huy Bang Nguyen, 齊藤 成, 奥村雅代, 金銅英二, 矢ヶ崎 裕

第36回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 2017年7月(松本)

松本歯科大学の歯冠彫刻実習に関するアンケート調査 その1 分習法彫刻時間の検討: 谷内秀寿, 富田美穂子, 田所 治, 中本哲自, 倉澤郁文, 金銅英二

第36回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 2017年7月(松本)

松本歯科大学の歯冠彫刻実習に関するアンケート調査 その2 補習用ステップ模型石膏柱の検討: 谷内秀寿, 富田美穂子, 田所 治, 中本哲自, 倉澤郁文, 金銅英二

講演会

International Congress on Orofacial Pain サテライトミーティング・口腔顔面痛キャンプ in 京都〜口腔顔面痛診療の現状〜 2017年4月(京都)

顎顔面領域における神経障害性疼痛のメカニズム: 金銅英二

口腔顔面痛脳学習キャンプ in 信州 2017年8月(塩尻)

脳の構造と機能, 末梢神経系の構造と機能: 金銅英二, 奥村雅代

松本歯科大学 KPS 講演会 2017年10月(高知)

知っておきたい痛み・情動の話〜臨床の対処法から脳のメカニズムまで〜: 金銅英二

著書

大須賀直人 (2017) 小児歯科学, 第5版, p141-9, 医歯薬出版

論文

Yokoi Y, Uozumi T, Matuda S, Imanishi T, Toriya J, Shoumura M, Okafuji N and Osuga N (2017) Proliferation and Alkaline Phosphatase Activity of Osteoblast-like Cells on the Sintered Rutile Titanium Dioxide. *J Hard Tissue Biology* **26** (1) : 37-42

Nishikawa Y, Matsuda S, Nakayasu Y, Toriya J, Yokoi Y, Shoumura M, Okafuji N, Kawakami T and Osuga N (2017) Reactions of the Dentin-Pulp Complex to Calcium Hydroxide Paste in Rats. *J Hard Tissue Biology* **26**(2) : 169-75

Nakayasu Y, Matsuda S, Moriyama K, Okafuji N, Mizohata A, Shoumura M, Kawakami T and Osuga N (2017) Reactions to Bioabsorbable Suture Thread Embedded in Rat Subcutaneous Tissue. *J Hard Tissue Biology* **26**(3) : 281-3

Moriyama K, Matsuda S, Matsuda A, Kida A, Mizushima H, Mitsui E, Shoumura M, Kawakami T and Osuga N (2017) Histochemical Characteristics of Tertiary Dentin Due to Calcium Hydroxide Paste in Rats. *J Hard Tissue Biology* **26**(3) : 285-8

Patil SR, Alam MK, Moriyama K, Matsuda S, Shoumura M and Osuga N (2017) 3D CBCT Assessment of Soft Tissue Calcification. *J Hard Tissue Biology* **26**(3) : 297-9

Islam R, Alam MK, Mukai A, Murakami Y, Shoumura M, Osuga N and Khamis MF (2017) Morphometric Analysis of Tooth Size and its Relationship with BMI in Transgender Population: A New Exposure in Dentistry. *J Hard Tissue Biology* **26**(4) : 361-7

横井由紀子, 山木貴子, 江花照夫, 河村 純, 岡藤範正, 大須賀直人 (2017) クラウンループの先端形状と離脱の関係. *小児歯科学雑誌* **55**(4) : 451-7

松田紗衣佳, 中野敬介, 岡藤範正, 正村正仁, 大須賀直人 (2017) 傷害された歯根膜の修復における骨髄間葉系細胞の関与. *日外傷歯誌* **13** (印刷中)

中安喜一, 松田紗衣佳, 西川純平, 岡藤範正, 正村正仁, 大須賀直人 (2017) 吸収性縫合糸 Vicryl に対するラット皮下組織の反応. *日外傷歯誌* **13** (印刷中)

その他学術著作物

宇田川信之, 中村美どり, 中村浩志 (2017) 硬組織 (歯・骨) とフッ素. 腎と骨代謝 29: 63-70

学会発表

第55回日本小児歯科学会総会 (福岡) 2017年5月
ラットの皮下組織内に埋入した吸収性縫合糸に対して出現する肉芽組織: 中安喜一, 松田紗衣佳, 鳥谷迅, 今西 徹, 遊佐辰徳, 森山敬太, 正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行

水酸化カルシウム系糊材に対するラットの象牙質・歯髄複合体の反応: 西川祐一郎, 松田紗衣佳, 中安喜一, 中野潤三郎, 正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行

歯根膜の慢性増殖性炎における骨髄由来未分化間葉細胞の局所特有の線維芽細胞への分化: 松田紗衣佳, 松田厚子, 紀田晃生, 水島秀元, 森山敬太, 横井由紀子, 正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行

水溶性二酸化チタン溶液の小窩裂溝充填塞材への応用—光触媒能についての検討—: 横井由紀子, 山木貴子, 山川洋子, 山川祐喜子, 松田紗衣佳, 正村正仁, 大須賀直人

第28回日本スポーツ歯科医学会 (北海道) 2017年6月

バイオマテリアル (Bio-trans-polyisoprene) によるスポーツマウスガード材への応用に関する基礎的検討: 鷹又哲也, 佐藤雅法, 菊池 勤, 鍵谷真吾, 永澤 栄, 大東史奈, 土田 実, 正村正仁, 大須賀直人

第17回日本外傷歯学会総会・学術大会 (名古屋) 2017年7月

マウス臼歯の髓床底穿孔による歯根膜ポリープ形成における細胞の移動と分化: 松田紗衣佳, 辻極秀次, 中野敬介, 岡藤範正, 正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行

口腔裂傷時の筋層縫合に使用する吸収性縫合糸 Vicryl® に対するラット皮下組織の反応: 中安喜一, 松田紗衣佳, 岡藤範正, 正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行

第27回硬組織再生生物学会総会 (岡山) 2017年8月

歯根膜における骨髄由来未分化間葉細胞の局所特有の線維芽細胞への分化: 松田紗衣佳, 辻極秀次, 中野敬介, 岡藤範正, 長塚 仁, 正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行

吸収性縫合糸 Vicryl® に対するラット皮下組織の反応: 中安喜一, 松田紗衣佳, 森山敬太, 岡藤範正, 正村正仁, 大須賀直人, 川上敏行

第60回日本口腔科学会中部地方部会 (名古屋) 2017年9月

マウス臼歯の髓床底穿孔による歯根膜ポリープ形成における細胞の移動と分化: 松田紗衣佳, 正村正仁, 大須賀直人, 中野敬介, 辻極秀次, 長塚 仁, 川上敏行

水酸化カルシウム系糊材に対するラットの象牙質・歯髄複合体の組織化学的検討: 森山敬太, 松田紗衣佳, 正村正仁, 川上敏行, 大須賀直人

吸収性縫合糸 Vicryl® をラット皮下組織内に埋入した時に出現する異物肉芽腫: 中安喜一, 松田紗衣佳, 森山敬太, 正村正仁, 辻極秀次, 中野敬介, 長塚 仁, 大須賀直人, 川上敏行

第59回歯科基礎医学会総会 (塩尻) 2017年9月

ラットの皮下組織内に埋入した吸収性縫合糸 Vicryl® に対し出現するマクロファージ: 中安喜一, 松田紗衣佳, 森山敬太, 正村正仁, 辻極秀次, 中野敬介, 長塚 仁, 大須賀直人, 川上敏行

骨髄由来細胞の歯根膜ポリープにおける局所特有の線維芽細胞への移動と分化: 松田紗衣佳, 正村正仁, 大須賀直人, 辻極秀次, 中野敬介, 川上敏行

水酸化カルシウム系糊材に対するラットの象牙質・歯髄複合体の反応: 森山敬太, 松田紗衣佳, 正村正仁, 川上敏行, 大須賀直人

第36回日本小児歯科学会中部地方会 (長野) 2017年10月

歯に対する物理学的刺激によるマウス歯周組織改造時の細胞動態: 松田紗衣佳, 松田厚子, 村上由見子, 横井由紀子, 森山敬太, 正村正仁, 大須賀直人

吸収性縫合糸に対し出現するマクロファージの骨髄からの供給: 中安喜一, 松田紗衣佳, 山田美保, 三井恵理奈, 上嶋博美, 森山敬太, 正村正仁, 大須賀直人

水酸化カルシウム系糊材を用いたラットの象牙質・歯髄複合体での第三象牙質形成について: 森山敬太, 松田紗衣佳, 紀田晃生, 水島秀元, 中野潤三郎, 正村正仁, 大須賀直人

左側上顎洞内部に発生した集合性歯牙腫の1例: 内田啓一, 高谷達夫, 横井由紀子, 岡藤範正, 山川洋子, 正村正仁, 大須賀直人

画像診断において診断が困難であった慢性顎骨骨髄炎の1例: 高谷達夫, 横井由紀子, 山川祐喜子, 山川洋子, 岡藤範正, 正村正仁, 大須賀直人, 内田啓一

講演会

松本歯科大学市民公開講座 2017年7月

「こどもの歯に関する疑問を解決する」: 大須賀直人
東筑摩塩尻北部支会養護教員歯科保健学習会
2017年8月

「こどもの歯の異常」: 大須賀直人

長野矯正研究会 2017年8月

「小児の口腔管理」：大須賀直人
厚木市歯科医師会 2017年10月
「小児の口腔管理」：大須賀直人

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

中村美どり, 大須賀直人, 溝口利英, 宇田川信之, 中村浩志, 中道裕子：硬組織再生におけるヒト歯髄細胞の有用性に関わる研究（基盤研究 C）

中村浩志, 八上公利, 宇田川信之, 大須賀直人, 定岡 直, 中村美どり：植物由来低分子ポリフェノールの骨代謝改善作用（基盤研究 C）

健康増進口腔科学部門 口腔健康政策学ユニット

著 書

小笠原 正（編分担）（2017）スペシャルニーズデンティストリー 障害者歯科, 第2版, P34-41, 156-61, 238-44, 260-4, 281-2, 医歯薬出版, 東京

論文発表

Yamada T, Matsuo K, Izawa M, Yamada S, Masuda Y and Ogasawara T（2017）Effects of age and viscosity on food transport and breathing-swallowing coordination during eating of two-phase food in nursing home residents. *Geriatr Gerontol Int* 17 : 2171-7

望月慎恭, 小笠原 正, 伊沢正行, 三井達久, 鈴木貴之, 磯野員達, 上出清恵, 大岩隆則, 岡田芳幸（2017）上田法を実施した脳性麻痺者の不正咬合率. *障歯誌* 38 : 510-5

伊藤加代子, 福島正義, 川良美佐雄, 阪口英夫, 大渡凡人, 小笠原 正, 日山邦枝, 羽村 章, 櫻井薫（2017）わが国の歯科大学・大学歯学部における老年歯科医学教育の実態. *老年歯医* 32 : 65-71

岡田芳幸, 鈴木貴之, 岩崎仁史, 磯野員達, 松村康平, 三澤美幸, 田中春菜, 小笠原 正（2017）重症血友病 A に対して血液凝固第Ⅷ因子 Fc 領域融合蛋白質製剤を補充し拔牙を施した自閉スペクトラム症児の 1 例. *障歯誌* 38 : 167-17

小笠原 正（2017）口腔機能が低下した患者のための水を使わない口腔ケア. *Modern Physician* 37 : 949-52

学会発表

Experimental Biology Chicago 2017 apr
Effects of nitrous oxide sedation on sympathetic

baroreflex sensitivity: Isono K, Okada Y, Mitsui T, Masuda Y and Ogasawara T

日本老年歯科医学会（第28回）2017年 6月

口腔ケアで咽頭の付着物は予防できるか：石原紀彰, 宮原康太, 小島広臣, 高井経之, 松村康平, 伊沢正行, 島田 茂, 大野友久, 角 保徳, 長谷川博雅, 柿木保明, 岡田芳幸, 小笠原 正

嚥下障害患者の咽頭にみられるのは、痰か？：樋口雄大, 宮原康太, 石原紀彰, 小柴慶一, 松村康平, 望月慎恭, 島田 茂, 守谷恵未, 大野友久, 角 保徳, 岡田芳幸, 小笠原 正

粘膜清拭による剥離上皮膜の形成予防効果：宮原康太, 西山孝宏, 脇本仁奈, 秋枝俊江, 伊沢正行, 島田 茂, 大野友久, 角 保徳, 岡田芳幸, 小笠原 正

日本摂食・嚥下リハビリテーション学会（第23回）2017年 9月

咽頭の付着物と口腔乾燥状態：朝比奈伯明, 伊沢正行, 磯野員達, 落合隆永, 長谷川博雅, 柿木保明, 岡田芳幸, 小笠原 正

粘膜ケアによる剥離上皮膜の形成予防効果：宮原康太, 秋枝俊江, 島田 茂, 角 保徳, 長谷川博雅, 岡田芳幸, 小笠原 正

日本障害者歯科学会（第34回）2017年10月

知的障害者の行動調整法の選択における意思決定支援を試みて：朝比奈伯明, 石原紀彰, 鈴木貴之, 渡辺秀昭, 志村隆司, 佐藤 厚, 道脇信恵, 寺田ハルカ, 石倉行男, 折山 弘, 日出島康博, 大槻征久, 岡田芳幸, 緒方克也, 小笠原 正

当診療所オープンシステムを利用した近隣の障がい者歯科センターとの医療連携：井澤秀紀, 佐藤厚, 稲吉直樹, 中村大輔, 渡部義基, 三井達久, 鍋田伸郎, 鳥居ゆか, 大野勝弘, 岡 義郎, 丸山 健, 加藤佐知恵, 鈴木千里, 鳥田知子, 小笠原 正

中枢性運動障害者における歯科治療時の過緊張緩和に上田法は有効か？ 第4報—知的障害及び運動障害の重症度による影響—：伊沢正行, 石原紀彰, 大岩隆則, 上出清恵, 三井貴信, 風間富雄, 安東信行, 井上恭代, 福澤雄司, 岡田尚則, 河瀬聡一郎, 副島之彦, 岡田芳幸, 小笠原 正

歯科治療を嫌がる障害者の行動調整法選択における現状の把握：石原紀彰, 朝比奈伯明, 渡辺秀昭, 志村隆司, 佐藤 厚, 稲吉直樹, 大槻真理子, 石倉行男, 日出島康博, 西山孝宏, 水野二郎, 大槻征久, 岡田芳幸, 緒方克也, 小笠原 正

静脈内鎮静法時におこる血圧低下は末梢血管よりも中心動脈の硬化度により予測し得る：磯野員達, 岡田芳幸, 樋口雄大, 三井達久, 高井経之, 小柴慶一, 小笠原 正

当センターで行った行動調整法に関する調査—障害者歯科研修の効果について—：一瀬千冬, 渡辺秀昭, 鈴木智子, 風間富雄, 新海絵里, 伊藤美香,

福本圭子, 林 三恵, 丸山幸江, 朝日めぐみ, 志村隆司, 小笠原 正

プロポフォールによる反射脈波の到達遅延は中心静脈における脈波増大率を減少させる: 岡田芳幸, 磯野員達, 樋口雄大, 三井達久, 塚田久美子, 望月慎恭, 小笠原 正

地域の歯科医師会センターにおける歯科治療が困難な障害者への行動調整の実施と保護者の理解: 木山力哉, 八尾正巳, 小川真史, 明石倫司, 阪本博文, 清水久哉, 立浪康晴, 朝比奈伯明, 岡田芳幸, 小笠原 正

歯科治療が困難な障害者への行動調整の実施と保護者の思い: 立浪康晴, 日出島康博, 泉 照雄, 大木淳一, 水野二郎, 石川 亨, 川上清志, 藤井達郎, 佐伯亮太, 宮本 暦, 朝比奈伯明, 岡田芳幸, 小笠原 正, 折山 弘

印象体の効果的な洗浄についての検討—第2報 洗浄剤の違いによる効果—: 田中春菜, 三澤美幸, 内田清美, 宮原康太, 三井理恵子, 脇本仁奈, 小島広臣, 薦田 智, 久野 喬, 牧井覚万, 岩谷和夫, 松村東栄, 岡田芳幸, 小笠原 正

プロポフォールによる血圧低下は頸動脈, 大動脈の Augmentation Index に関与する: 樋口雄大, 磯野員達, 三井達久, 西連寺瑠美, 西連寺央康, 岡田芳幸, 小笠原 正

粘膜清拭による細菌減少状態: 藤沢汐里, 内田清美, 三澤美幸, 秋枝俊江, 石原紀彰, 黒田たまき, 木村莉子, 那須野小夢樹, 植松紳一郎, 河瀬瑞穂, 藤田恵未, 大野知久, 角 保徳, 岡田芳幸, 小笠原 正

咽頭の付着物を有する患者の口腔乾燥状態との関係: 宮原康太, 篠塚功一, 山田晋司, 渡部義基, 岩崎仁史, 川瀬ゆか, 鈴木尚子, 松村康平, 島田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅, 柿木保明, 岡田芳幸, 小笠原 正

障害者への行動調整法と保護者の思い: 渡辺秀昭, 新海絵里, 伊藤美香, 戸澤寿乃, 米山泰雄, 小濱志織, 宮下由美子, 鈴木智子, 一瀬千冬, 風間富雄, 福本圭子, 林 三恵, 丸山幸江, 志村隆司, 小笠原 正

北信越障害者歯科臨床研究会 (第7回) 2017年6月

歯科治療時の行動調整における知的障害者への意思決定支援と保護者の評価: 朝比奈伯明, 石原紀彰, 秋枝俊江, 宮原康太, 磯野員達, 伊沢正行, 折山 弘, 水野二郎, 立浪康晴, 日出島康博, 緒方克也, 岡田芳幸, 小笠原 正

歯科治療を嫌がる障害者の行動調整法選択における現状の把握: 石原紀彰, 朝比奈伯明, 秋枝俊江, 宮原康太, 伊沢正行, 磯野員達, 望月慎恭, 緒方克也, 岡田芳幸, 小笠原 正

中部歯科麻酔研究会 (第52回) 2017年7月

静脈内鎮静法時におこる血圧低下は末梢血管より

も中心動脈の硬化度により依存する: 磯野員達, 岡田芳幸, 樋口雄大, 三井達久, 岩崎仁史, 小笠原 正

プロポフォールによる血圧低下は頸動脈, 大動脈の Augmentation Index に関与する: 樋口雄大, 岡田芳幸, 磯野員達, 三井達久, 岩崎仁史, 小笠原 正

松本歯科大学学会 (第84回) 2017年7月

障害者への行動調整法と保護者の思い: 朝比奈伯明, 石原紀彰, 秋枝俊江, 樋口雄大, 伊沢正行, 磯野員達, 岡田芳幸, 小笠原 正

第85回松本歯科大学学会 (塩尻) 2017年11月

ステロイド投与が培養骨の骨形成過程に及ぼす影響: 李 憲起, 楊 静, 芳澤享子, 各務秀明

第21回日本口腔顎顔面インプラント学会総会・学術大会 (富山) 2017年12月

短期間ステロイド投与が培養骨の骨形成過程に与える影響: 李 憲起, 楊 静, 芳澤享子, 各務秀明

特別講演

2017 annual conference of KADH (Korea) 2017 apr

International symposium Considerations in caring for persons with physical disabilities: Ogasawara T (Japanese Dental Professional's Perspective)

2nd Seminar of Indonesian Society of Special Care Dentistry (Indonesia) 2017 aug

“New Horizon in Oral Care for Special Needs” Medical Compromised in Special Care Dentistry: Ogasawara T

長野県口腔保健推進事業 障がい者 (高齢者含む) 等歯科医療技術者養成研修会 基調講演 (塩尻) 2017年3月

「地域における障がい者歯科従事者の役割と今後の展開」: 小笠原 正

講演会

松本歯科大学北海道支部 平成28年度学術講演会 (札幌) 2017年1月

「認知症 基礎知識と歯科的対応」: 小笠原 正

高知県歯科医師会 第2回 医療安全対策と緊急時の対応 (高知) 2017年2月

「日常診療における医療安全対策と緊急時の対応」: 小笠原 正

山梨県歯科医師会 五疾病等に対応した医科歯科連携研修会 (甲府) 2017年2月

「今日の歯科臨床に必要な循環器疾患対応ストラテジー」: 岡田芳幸

富山県歯科医師会 平成28年度障害者歯科医療研修会 (富山) 2017年3月

「歯科診療への適応性を得るためのノウハウ, レ

ディネスの見極め, トレーニングと歯科治療時のポイント」: 小笠原 正

千葉県歯科医師会 平成29年度心身障がい児(者)歯科医療研修会(千葉) 2017年5月

「地域における障害者歯科 見極めと対応」: 小笠原 正

豊橋市歯科医師会講演会(豊橋) 2017年8月

「超高齢社会で求められる歯科衛生士」: 小笠原 正

沖縄県障害者歯科地域協力医研修制度(沖縄) 2017年7月

「治療計画立案」: 小笠原 正

長野県保険医協会(松本) 2017年8月

「院内感染, 医療事故, 緊急時の対応」: 小笠原 正

塩筑歯科医師会 医科歯科連携講習会(塩尻) 2017年9月

「地域包括ケアや医科歯科連携」: 小笠原 正

長野県健康福祉部 発達障がい者診療にかかる研修会(松本) 2017年9月

「各診療領域における支援の実際」: 小笠原 正

平成29年度長野県歯科医師会学術大会(長野)

2017年11月

「歯科医院における感染症対策」: 小笠原 正

熊本県歯科医師会 平成29年度委託事業在宅歯科従事者研修会(熊本) 2017年12月

「障がい児(者)及び身体障害者への口腔ケアについて実技研修」: 小笠原 正

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

小笠原 正, 長谷川博雅, 落合隆永, 柿木保明: 口腔乾燥の要介護高齢者における咽頭の汚染物の病態解明と予防法の確立(基盤研究C(代表研究者))

李 憲起, 高田匡基, 楊 静, 各務秀明: 骨再生過程に及ぼす炎症の影響に関する検討(基盤研究C(研究分担者))

その他の研究補助金による研究

平成28年度長寿医療研究開発費

小笠原 正: 要介護高齢者のQOL向上を目指した口腔機能に関する研究